

氏名 江 草 重 実

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 3 6 8 号

学位授与の日付 昭和44年 6 月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学位論文題目 血管移植に関する実験的研究
第 1 編 蛇腹加工平織テトロン人工血管と同ステンレス
コイル補強管による下大静脈の移植
第 2 編 自家小腸粘膜下層による下大静脈と腹部大動脈
の移植

論文審査委員 教授 砂田 輝 武 教授 田 中 早 苗 教授 児 玉 俊 夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第 1 編：成犬28頭を用い、東洋レーヨン製蛇腹加工平織テトロン人工血管を下大静脈に移植した。一部の人工血管にはステンレスコイルの補強を加えて用いた。30日以上の開存例は28例中15例で最長観察期間は 451日である。移植管を組織学的に検察し仮性内膜形成の過程を追求し、移植の成否に及ぼす要因を技術的な面と移植片の性質の両面から検討した。

第 2 編：小腸の漿膜と粘膜は容易に除去される。残った粘膜下層は薄く比較的強靱である。成犬20頭を用い、自家小腸粘膜下層を大静脈に、2頭では大動脈にも移植した。移植片については組織学的に検察した。粘膜下層は大動脈移植の場合と 2 cm以内の短片による大静脈移植の場合には利用価値があると思われる。

論文審査の結果の要旨

本研究は血管移植とくに下大静脈の移植について実験的に研究したものであるが、従来十分検討されていない代用血管の応用ことに全く新しい試みとして自家小腸粘膜下層の利用について重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。